

目次

□巻頭言 技術開発に対する一つの姿勢……………上 前行 孝 / 1  
 橋梁基礎工の展望……………塩 井 幸 武 / 3  
 鋼橋架設の変遷……………池 田 肇 / 7  
 最近のPC 橋梁架設概要……………佐 藤 浩 一 / 15  
 南北備讃瀬戸大橋下部工事発破工……………浜 田 邦 典 / 21  
 大阪湾岸線大和川橋梁(斜張橋)の工事概要……………江 見 晋 / 25  
 大三島橋(アーチ橋)の架設……………林 宣 熙 / 30

グラビヤ——本州四国連絡橋 大三島橋の架設

六甲大橋(2層式斜張橋)の建設工事……………松 浦 勢 一 / 39  
 自走式門型架設機によるPC 桁の架設……………大 林 祥 泰 / 46  
 ——上越新幹線長岡操車場直上のPC 桁  
 モルタルプラント船“世紀”の概要……………鈴 木 隆 / 50  
 □随 想 音とのかゝわり合いから……………浅 間 敏 雄 / 56  
 □昭和54年度官公庁の事業概要(その2)  
     運輸省港湾関係事業の概要……………谷 口 武 志 / 59  
     運輸省空港整備事業の概要……………茨 木 康 男 / 63  
     日本国有鉄道設備投資計画の概要……………岩 崎 文 松 / 66  
     日本鉄道建設公団の事業概要……………岩 崎 徹 / 69  
     農業基盤整備事業の概要……………浅 原 辰 夫 / 73

□新機種ニュース……………調 査 部 会 / 77  
 □整備技術  
     コスト——機械土工の例……………整備技術部会 / 80  
 □ISO 規格紹介  
     建設機械の安全性の必要条件および  
     居住性に関するISO 標準規格(16)-2……………I S O 部 会 / 82  
 □統 計  
     建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移  
     ……………調 査 部 会 / 85  
 行事一覧…………… / 86  
 編集後記……………(津田・新堀・三浦) / 88

◀表紙写真説明▶

川崎ショベルローダ  
 川崎重工業株式会社

川崎ショベルローダ KLD シリーズはバケツ容量 1.2m<sup>3</sup> から 5.5m<sup>3</sup> まで 10 機種を揃えている。本機は昭和 36 年に純国産のショベルローダとして開発されて以来、国内外から乗目を集め、特に川崎独特の機構と各所に採り入れられた安全性が高く評価されている。また純国産品であるためテリトリーの制限はなく、北米、中南米、欧州をはじめ、アジア、アフリカ、中近東など広く海外に輸出されている。

◀主な仕様▶

- KLD 70 : バケツ 2.2m<sup>3</sup>, 145 PS, 12.4 t
- KLD 80 Z : バケツ 2.5m<sup>3</sup>, 160 PS, 14.7 t
- KLD 80 : バケツ 2.8m<sup>3</sup>, 205 PS, 16.8 t
- KLD 85 Z : バケツ 3.1m<sup>3</sup>, 215 PS, 17.7 t